

インドネシア・フィリピン・ラオスの「エネルギー管理士指導者育成プロジェクト」の 現地省エネ実務試験に立会い・結果討議を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、「エネルギー管理士指導者育成プロジェクト」の一環で、2017年10月17・18日にインドネシア、11月3日にフィリピン、11月9日にラオスを訪問し、省エネ実務試験への立ち会いを実施しました。

- (1) インドネシアではミルク製造工場、電力管理ビルの省エネ診断への立ち会い及び診断結果の討議
- (2) フィリピンでは、水道事業の省エネ診断への立会い及び診断結果の討議
- (3) ラオスでは、清涼飲料製造工場の省エネ診断への立会い及び診断結果の討議



写真1. ミルク工場及び電力管理ビル診断状況（インドネシア）



写真2. 水道事業工場での診断及び本社ビルでの打合せ（フィリピン）



写真3. 清涼飲料製造工場の診断及び会議風景（ラオス）

AJEEP Scheme 2・エネルギー管理士育成事業の第2弾として、インドネシア・フィリピン・ラオスそれぞれ自国での省エネ実践研修を実施し、その診断結果の討議に参加しました。

- (1) インドネシアのミルク製造工場では診断指導の一環として、エネルギー原単位評価の導入を提案しました。電力管理ビルの省エネ診断では、安全関係の指導を徹底しました。
- (2) フィリピンでは水道事業工場の省エネ診断に立会い、省エネ対策について討議しました。今後、自社の省エネ活動だけでなく、ASEAN トレーナーとしての活動を要請しました。
- (3) ラオスでの清涼飲料製造工場の省エネ診断においては、診断経験のない政策担当者であったため、専門家から診断手法の講演を実施した後、専門家の指導の下、診断を実施しました。